

ひとえだ

一枝のゆめ通信

Piece of Dream Foundation Letter

第12号

発行日：2022年9月1日
発行人：矢野 忠 編集・印刷人：藤井亮輔
〒115-0045 東京都北区赤羽1-45-5
クロスポイント赤羽1F
電話：03-6310-5172
FAX：03-6310-5172
振替口座：00170-4-487300
(ゆうちょ銀行)

巻頭／理事会報告／研修生の声／健康コラム
／「一枝のゆめ治療院の現場より」第15号／
第7期賛助会員とご寄付をいただいた方々／入
会ならびにご寄付のお願い／編集後記

◎ 財団のミッション

- ・高い資質を備えた鍼灸マッサージ師を育成します
- ・三療の魅力と価値を発信し若者に夢を与えます
- ・視覚に障害のある業者の就労や経営を支援します
- ・地域の人々や労働者の健康づくりを支援します
- ・ミッションを推進する活動拠点の整備を目指します

<巻頭>

虫たちの輪唱が耳を楽しませてくれる季節となりました。空も空気も日の傾きも街ゆく人の服装も、「あつもの」が増えた食卓も、時の移ろいを感じさせてくれるささやかな「変化」ですが、いつまでも変わらないのが新型コロナウイルスの勢いです。今朝（8月30日）の新聞が、「全国の感染者数、6週間ぶりに10万人を割る」と報じていましたが、まだまだ、桁を見まがうほどの多さです。第7波が残した爪痕が癒やされるわけでもありません。当財団でも感染者や濃厚接触者を出したことの影響のほか、来院患者数が減ったことによる経営へのダメージは今なお続いています。会員の皆さまにおかれましても、様々な形でコロナ禍に翻弄された夏だったのではないのでしょうか。災禍に遭われた方々には謹んでお見舞いを申し上げます。

そうしたさなかの8月3日、第6期（2021年6月～2022年5月）の活動を総括する決算理事会が、また、8月22日には同評議員会が、いずれもZOOMで開催されました。今号では、その審議の様子のほか、半年が過ぎた第3期研修生の声をお届けします。また、矢野理事長書下ろしの「一枝の夢治療院の現場より」（第15号）は「更年期障害のセルフケア」です。日ごろの健康管理にご活用ください。

（専務理事：藤井亮輔）

理事会報告

○審議事項

提案された第1号から第3号までの議案（第6期事業報告、第6期収支報告及び監査報告）について、議案書に沿った審議が行われ、いずれの提案も全会一致で意義なく承認されました。以下、議事の概要をご報告させていただきます。なお、議案書、議事録の詳細は当財団のホームページに掲載しますのでご活用ください。

1. 第1号議案（第6期事業報告）

今期に計画した事業は次の10事業でした。

- ①一枝のゆめ治療院の運営、②研修生の受け入れ、③実習生の受入れ、④講座の開催、⑤講師派遣、⑥訪問マッサージ技能検定試験の実施、⑦卒後鍼灸手技研究会の事務代行、⑧広報活動の強化、⑨経営基盤の強化、⑩調査研究

これらの事業中で、⑥の「訪問マッサージ技能検定試験の実施」は関係団体との調整が不首尾に終わり事業の中止を余儀なくされました。これを除く事業のうち、主な活動を以下に報告します。

まず、基幹事業である治療院運営と講座開催事業は新型コロナウイルス感染拡大の影響により十分な成果を挙げることはできませんでした。とくに、治療院運営は度重なる蔓延防止等重点措置に加え、訪問部門が昨年12月に閉鎖になったことがあいまって事業収益は423万円にとどまりました。ただ、院内部門に限ると過去最高益を計上することができました（表1）。また、講座開催事業も開講数を減らしたり受講生が激減したりするなど前期と比べ大幅な減収を余儀なくされました（表2）。

一方、講師派遣事業は5件を受注し当初予算どおりの事業収益（28万円）を計上できました（表3）。また、質の高い鍼灸マッサージ師の育成を目的に実施した第2期研修生の受け入れ事業は、前期より3人多い7人の研修生を送り出すことができました。今年3月に実施した第3期研修生の選考試験では8人が合格し、目下、継続者1名を加えた9人に充実した研修を提供しています（表4）。研修の様子的一端が「研修生の声」（5-6p）に紹介されていますので、ぜひご一読ください。

研修生と同じく、未来の人材を育てる目的で始めた臨床実習生受け入れ事業は、日本鍼灸理療専門学校（花田学園）から58名、横浜市立盲学校から1名、筑波大学附属視覚特別支援学校から2名の学生を受け入れました。成果の一端は実習生のアンケート（第11号既報）からも読み取ることができますので、当財団のホームページをご覧ください。さらに、前期から事務局業務を受託した卒後鍼灸手技研究会は、コロナ感染拡大のさなかでしたが、開催形式をオンラインに切り替えたことで予定どおり6回の講座を開くことができました（表5）。

また、新型コロナウイルス感染拡大の三療業への影響等についての緊急アンケートの調査結果（既報）を「月刊視覚障害—その研究と情報—」の第389号に発表するとともに、2021年9月に日本（オンライン）で開催された第15回WBUAP（世界盲人連合アジア太平洋地域協議会）のマッサージセミナーで報告しました。

2. 第2号議案（第6期収支報告）

第6期の経常収益は、基幹事業の治療院収入と講座収入が低調だったことを主な要因に事業収益は約1,112万円にとどまり前期を374万円下回りました。一方、経常経費は事務所の賃貸契約の解約に伴う賃借料と職員の異動に伴う諸経費の削減努力により1,049万円に縮減できました。その結果、当期経常損減額は約63万円のプラスとなって始めて黒字を計上することができました（正味財産増減計算書）。

とはいえ、経常収益には臨時的なコロナ関連の国庫助成金（105万円）が含まれているほか、長期借入金（日本政策金融公庫）を含む負債合計は13,396,199円となっており、足元の財政は引き続き厳しい状況にあります（貸借対照表）。

3. 報告事項

1) 国際総合鍼灸マッサージ研修センター（三療プラザ館）の実現に向けた取り組みについて

この構想は、2025年3月に廃校となるヘレンケラー学院（東京都新宿区）の跡地に標記プラザ館を、日本視覚障害者団体連合（日視連）、国際視覚障害者援護協会（IAVI）、東京ヘレンケラー協会と一社のゆめ財団が、それぞれの強みを活かして共同で立ち上げる計画です。プラザ館には障害者総合支援法に基づく就労移行支援事業所の指定を受ける「あはき施術所部門」と、晴眼者・視覚障害者を問わず鍼灸マッサージ師を広く受け入れる「研修センター部門」が入る予定です。この中で当財団は研修や訓練のノウハウ提供の役割を担う予定です。

理事会では、運営主体を担う予定の日視連内の前向きな動きが竹下理事（日視連会長）より説明がなされましたが、晴眼者を含める「研修センター部門」をめぐる4団体間の合意形成がまだできていない状況です。いずれにせよ、25年4月のオープンを目指すには、東京都との事前相談や事業計画書の作成など、所要の作業日程が目白押しになっていますので、関係団体間の早期調整が必要です。年内には臨時理事会を招集し当財団としての最終的な方針を審議していただく予定です。

2) 理事会・評議員会

- 第11回理事会（定時） 2021年6月12日
 - (1)新型コロナウイルス感染症特別貸付制度に基づく借入金の契約について
 - 第12回理事会（定時：決算） 2021年8月7日
 - (1)第5期事業報告（案）に関する件
 - (2)第5期収支決算報告（案）に関する件
 - (3)第5期監査報告（案）に関する件
 - (4) 就労支援事業の創設に向けた取り組みについて
 - 第10回評議員会（定時） 2021年8月21日
 - (1)第5期事業報告（案）に関する件
 - (2)第5期収支決算報告（案）に関する件
 - (3)第5期監査報告（案）に関する件
 - 第12回理事会（臨時：ZOOM） 2022年2月4日
 - (1) パート事務職員の採用について
 - 第13回理事会（定時：ZOOM） 2022年5月15日
 - (1)第7期事業計画案に関する件
 - (2)第7期収支予算案に関する件
 - (3)任期満了に伴う評議員の推薦に関する件
- 談話題：第3回全国あん摩マッサージ指圧コンテストについて

表1 第6期治療院運営実績 — 第4期・第5期との比較 —

	第6期実績	第5期実績	第4期実績
来院患者数	797人	716人	690人
院内収入	4,072,500円	3,361,500円	2,497,000円
訪問収入	161,130円	910,800円	1,542,400円
総売り上げ	4,233,630円	4,272,300円(x)	4,039,400円

表2 第6期講座開催事業実績

	開催日	講座名	講師	受講者数
機能 訓練 実践 講座	6月13日	関節モビライゼーションの基礎と応用	藤井亮輔	3
	7月11日	肩の痛みと可動域制限に対するアプローチ	〃	3
	8月8日	膝の痛みと変形に対するアプローチ	〃	3
	9月12日	上肢と下肢の痛み・しびれに対するアプローチ	〃	5
	10月10日	運動機能評価の基礎と機能訓練の実際	〃	6
	11月14日	関節モビライゼーション（1）、（2）	〃	7
	12月12日	関節モビライゼーション（3）と応用	〃	6
	1月9日	触察と筋パルスで学ぶ骨格筋のかたち（1）	〃	6
	2月13日	触察と筋パルスで学ぶ骨格筋のかたち（2）	〃	7
	3月13日	触察と筋パルスで学ぶ骨格筋のかたち（3）	〃	8
	4月9日	運動機能評価の基礎と機能訓練の実際	〃	7
5月14日	関節モビライゼーション（1）、（2）	〃	6	
臨床	10月17日	腰下肢痛の鍼灸治療	野口栄太郎	2
	10月24日	鍼通電療法の基礎から臨床応用まで～中級編～	坂井友実	4
	11月7日	鍼通電療法の基礎から臨床応用まで～中級編～	水出靖	4

力 向 上 講 座	11月14日	鍼通電療法の基礎から臨床応用まで～中級編～	野口栄太郎	4
	11月21日	鍼通電療法の基礎から臨床応用まで～上級編～	藤井亮輔	5
	12月5日	鍼通電療法の基礎から臨床応用まで～上級編～	菅原正秋	5
	12月19日	鍼通電療法の基礎から臨床応用まで～上級編～	坂井友実	4
	5月15日	女性疾患概論 不妊症	小井土義彦	2
	5月29日	女性疾患概論 更年期障害	小井土義彦	2

表3 講座開催及び講師派遣事業

	月	講師派遣先	講師	内容	収入(円)
講座	通 年		表2参照	表2参照	1,262,330
講師 派遣	7	東京都盲人福祉協会	坂井友実	腰部・臀部の基礎知識と臨床	224,000
	7	同上	藤井亮輔	腰痛体操-マッケンジー体操	
	8	同上	坂井友実	頸部の鍼灸手技療法	
	10	同上	藤井亮輔	肩周囲炎の手技療法	
	10	マイナビパートナーズ	菅原正秋(外部)	三療施術と医療事故	55,000
合計					1,541,330

表4 一枝のゆめ財団・東洋医療研修センター研修生名簿

	第2期研修生			第3期研修生	
1	今井弘之	日本指圧専門学校	終了	牛田洋介	日本鍼灸理療専門学校
2	梅原いつか	日本鍼灸理療専門学校	終了	大久保沙織	日本医学柔整鍼灸専門学校
3	岡部智香恵	東京医療福祉専門学校	終了	北川裕子	東京医療専門学校
4	権田昌子	東洋衛生学院専門学校	継続	権田昌子	東洋衛生学院専門学校
5	佐藤優成	日本鍼灸理療専門学校	終了	杉内邦江	東洋鍼灸専門学校
6	中嶋雄大	東京都立文京盲学校	終了	成瀬みさ	東洋鍼灸専門学校
7	森 健太	筑波技術大学	終了	藤澤由美子	東京医療専門学校
8				布野聡一郎	東洋鍼灸専門学校
9				茂木裕磨	日本鍼灸理療専門学校

表5 2021年度卒後鍼灸手技研究会の開催実績

	開催日	講師	テーマ	受講者数
1	5月30日	矢野 忠	『スマホ社会の目の疲れと鍼灸マッサージ』	89名
2	6月20日	山口 智	『脳卒中に対する鍼灸治療の実際-後遺症の改善と脳血流の増加反応について』	62名
3	7月25日	藤井亮輔	『慢性の膝関節痛の病態と鍼灸手技療法』	57名
4	10月3日	松浦悠人	『鍼灸臨床で必要なうつ病の病態把握と鍼灸治療』	55名
5	11月28日	安野富美子	『レディース領域における鍼灸治療とその実際』	56名
6	1月23日	前田智洋	『腰痛の診察法と病態に基づく鍼・あん摩療法』	54名

以上

研修生の声



第3期の研修も半年が過ぎました。今号では、折り返し点を過ぎた「一枝式研修」について感想などを3人の研修生に振り返ってもらいました。他の研修生の声は随時お届けします。

◎杉内邦江

資格は取ったものの解剖学の知識が壊滅的で初学者としての参加です。体系的な学習の必要性を感じ始めていた頃に藤井先生に治療でお世話になり、ふと「解剖をやってきていない私でも触察ができるようになるのでしょうか」との質問に、にこやかに「なります、なります。誰でもできるようになります。」と即答して下さった言葉が契機で、一度きちんと取り組むことを考え始めました。

必要範囲の知識の絶対量が不足している私ですが、学んだ知識を臨床における病態把握につなげる訓練の場として大変貴重な教育の機会を頂戴したと感謝しております。臨床経験の長い先生方が初診の患者さんの問診から全てを私たち研修生に見学させて下さる想定以上の質の高さと貴重な機会に感嘆し、感謝の念に堪えません。技術を習得、習慣化するまでは長い道のりですが地道に邁進していく所存です。

志高く、先陣に立つ気概を持ち続けるお二人の先生方に只ただ、頭が下がるばかりです。これからどうぞ宜しくご指導賜りますようお願い申し上げます。

◎成瀬みさ

私の一枝のゆめ財団との出会いは、セミナー受講でした。専門学校を卒業して、整骨院で働き始めた頃、自分の技術の足りなさに悩みました。本を読んだり、ネットで調べたりと努力はしたのですが、技術面となると成果は今一つに感じていました。そんな時に、セミナーを探していて、私の中の運命の出会いがあったのです。運命の出会いということ、大げさで笑われちゃうかもしれませんが、本当にそのように感じています。知識や技術を学べる最高の環境に身を置いているなと思えるからです。

研修生に受け入れていただき、4カ月。私の臨床能力は劇的に上がっています。先生のお言葉でいう組織選択的な治療は、学校ではほぼやってきておらず、始めは悪戦苦闘でしたが、今は大分筋肉との距離が近づけている気がします。先生の教えの熱量は、どんなに治療院が忙しくてお疲れだろうな、という日でも決して変わることはありません。毎日安定した同じ熱いテンションで私たちに教えてくださいます。そんな先生の姿に、とても感銘を受け、尊敬もしております。先生の教え方はお上手で分かりやすいですし、たまにギャグも飛ばしてくれて楽しい雰囲気もあります。何より褒め上手☆これでまた、気持ちよく学べて身になっています。

研修生になるかは一瞬だけ悩みました。一年間、週に二回赤羽に通学することは、仕事との両立ができるのか不安だったからです。私は研修生になる前に何回も、当セミナーに参加していました。いつも顔をあわせていた先輩にあたる研修生のお二人に「メリットメリット、良かったこと、辛いことを失礼かなと思いつつお尋ねすると、「メリットと良いことしかない」とお二人とも即答でした。これにも後押しされましたので、感謝しています。私も、もし同じことを聞かれたら同じように即答するでしょう。

一枝のゆめ財団の理念のひとつでもある「高い資質を備えた鍼灸マッサージ師の育成」が、今後「プラザ館」の実現でさらに羽ばたくのだろうなと思います。先生は今の赤羽の治療院を手狭とおっしゃいますが、今は十分な環境です。ただ、この先患者さんや研修生が増えた時には手狭になりそうです。

コロナが落ち着いたその先で、患者さんや研修生がもっともっと増えることが私も楽しみです。本当に技術力と温かみを兼ね備えた、財団、治療院なので、より多くの方に知っていただきお越しくださればいいな。いつもたくさんの方の事を惜しみなく教えてくださる先生に感謝の気持ちをお伝えして終わろう。

うと思います。先生方、本当にありがとうございます。

◎藤澤由美子

「研修生になってよかった」が率直にそして真っ先に出る感想です。研修生になることを選んだ当時の自分を褒めたい気持ちです。

この5か月間はあっという間でした。筋骨格系はあまり得意でなく国家試験向けの最低限の勉強しかしてこなかったことと一緒にあった研修生が理解力の高い方々で毎回ついていくのが大変で勉強と復習に追われ、刺鍼の未熟さをくり返しご指摘いただいたことで、困惑しながら練習しては周りの先生方にアドバイスをもらって練習して試行錯誤しながら刺鍼練習に追われ、日々やることが満載でした。振り返って、新米鍼灸師としては必要な道を辿れているように思いますし、正しく勉強する機会と気づきをもらえたことを幸せに思います。

幸運にも坂井先生、藤井先生の両先生に指導を受けることができるのは光栄ですが全て消化吸収できるか不安を感じ始めています。貴重な機会を無駄にしないようにと思いますし、また少し慣れてきた残りの期間は自分の課題を顧みて学びを繰り返すこと、興味を深める時間をつくることを目標にしたいです。どれだけ吸収できるか今後を楽しみに進みたいと思っています。

<研修風景>



<藤井先生と研修生の牛田さん（左）・成瀬さん（右）>

トピックス

- 当財団副理事長の坂井友実先生が、6月に行われました「第71回 全日本鍼灸学会学術大会 東京大会」の大会会頭を務められました。
- 6月から『点字毎日』（毎日新聞社）の紙上で、当財団専務理事の藤井亮輔先生のエッセイ「三療の未来と一枝のゆめ」が連載されています。月1回の連載ですが、随時、財団のホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。

健康コラム

はなち 『鼻血が出たらどうしますか？』

1. あお向けに寝る・・・×
鼻血がのどに下がり飲んでしまうと出血量が分からなくなります。窒息のリスクもあります。
2. 鼻を冷やす・・・×
あまり効果は期待できません。

正解

ティッシュを血が出ている鼻孔につめ、うつむいた姿勢で小鼻をしっかりと5分間、押さえます。鼻出血の多くは鼻の右と左を分けている壁（鼻中隔）の前の方からおこります。この部分をしっかりと押さえると多くは5～10分ほどで止まります。それでも出血が続く時は耳鼻科に相談しましょう。



更年期障害のセルフケア

1. 更年期障害とは

閉経前後5年間ぐらいの期間を更年期といいます。我が国の女性の閉経年齢は、50.5歳とされていることから、45～55歳の期間が更年期と定められています。この間に生ずる多様な不定愁訴を更年期症状といい、その症状が日常生活に支障をきたす程度になると更年期障害といいます。

不定愁訴とは、具体的に不眠、倦怠感、抑うつ、めまい、耳鳴、ほてり、冷え、発汗、肩こり、頭痛など多様な症状のことです。

かつて更年期障害は、「更年期に現れる不定愁訴症候群である」と定義されていましたが、現在では「更年期に現れる多種多様の症候群で、器質的変化に相応しない自律神経失調症」（日本産婦人科学会）とされています。なお、更年期障害は全ての婦人に起こるものではなく、個人差があります。

2. 更年期障害は何故起きるのか

更年期障害は何故起きるのか、その発症機序は未だ不明の点が多いと言われてはいますが、現在のところ、①内分泌的因子（卵巣機能の低下）、②心理・性格的因子、③社会・文化的因子といった3つの要因の関与が指摘されています。このように一つの原因で発症するわけではありません。それだけに原因を探ることは困難であることから、総合的(生物心理社会的)な観点から診る必要があります。

(1) 内分泌的因子（卵巣機能の低下）：卵巣の重量は、成熟期で9～10g、41～50歳で6.6g、51～60歳で4.9g、61～70歳で4.0gに減少、卵胞はほとんど見られなくなります。そうすると女性ホルモンのエストロゲンの分泌が低下し、ゴナドトロピン(性腺刺激ホルモン)が増加します。特にエストロゲンの減少により、様々な症状(月経停止、自律神経症状、精神神経症状、脂質異常症、高血圧、骨粗鬆症など)が発症します。そのために現代医学では少なくなったエストロゲンを補充する治療(ホルモン補充療法：HRT)が行われます。

(2) 心理社会的因子：閉経後の女性の心理社会的な変化(容姿・容貌の変化、成長した子供の離反、夫との関係、定年に伴う経済的な問題、親しい人との死別など)により、様々な**ストレス**を受け、心身に変調をきたします。

3. 更年期障害の自己チェックと前向きに捉えること

更年期障害のチェックで良く使用されているのが簡易更年期指数(SMI)です。SMIで0-25点は異常なし、26-50点は食事・運動に注意、51-65点は更年期外来受診と判定されます。合計点数が51点以上の方は専門医の診察を受けることを勧めます。

閉経をネガティブではなく、前向きに捉えることが勧められています。月経や妊娠の心配から開放され、第三の人生を生き生きと生きることとされています。

症状	強	中	弱	なし
①顔がほてる	10	6	3	0
②汗をかきやすい	10	6	3	0
③腰や手足が冷えやすい	14	9	5	0
④息切れ、動悸がする	12	8	4	0
⑤寝つきが悪い、眼りが浅い	14	9	5	0
⑥怒りやすい、イライラする	12	8	4	0
⑦くよくよしたり、憂うつになる	7	5	3	0
⑧頭痛、めまい、吐き気がよくある	7	5	3	0
⑨疲れやすい	7	5	3	0
⑩肩こり、腰痛、手足の痛みがある	7	5	3	0

4. 更年期を快適に過ごす10カ条とツボ療法

①いい友達を持つこと、②家族とよい関係をもつこと、③あるがままの自分であること、④体を動かしましょう、⑤生きがいをもつこと、⑥健康診断を定期的に受けること、⑦睡眠をきちんととりましょう、⑧バランスのとれた食事を三食きちんと食べましょう、⑨おしゃべりをしましょう、⑩常に新しいことに挑戦する気持ちを持つこと

上記の中でまずできること、考えを改めるから始めてください。なお、更年期障害は時間経過とともに改善します。その意味において必ず治ります。

冷えを伴う方はツボに市販の温灸を!!

冷えを伴わない方は市販の貼るハリ、または手製の爪楊枝鍼でツボを30秒程度軽くタッピングを



第7期賛助会員とご寄付をいただいた方々

(2022/8/31 現在)

ゆめ会員	一般会員	法人会員	寄付者
16人	26人	4団体	7人

◎会員

◎ゆめ会員（敬称略）

【千葉県】長岡英司【東京都】丹澤章八、藤井克徳、藤井亮輔、藤井ゆき代
【静岡県】小田木宏江【岐阜県】川喜田健司【愛知県】菱田俊彦、菱田岐代子
【兵庫県】中西初男【京都府】竹下義樹、矢野忠【島根県】小川幹雄【福岡県】岡田富広
【沖縄県】仲宗根義美、中本与一

◎一般会員（敬称略）

【青森県】大久保友芳、中村幸雄【富山】矢野博明【群馬県】松浦良民、【栃木県】兼目忍
【茨城県】山田信代【埼玉県】内田玲子、川島恵司、山口智【東京都】新谷弘子、石渡博明、
大谷正子、笹川吉彦、与那嶺岩夫【神奈川県】小井土善彦、古賀公子【静岡県】岡田剛
【長野県】関口かおる【岐阜県】松浦研一【京都府】廣正基【岡山】竹内昌彦【鳥取県】
小倉孝之【島根県】岩谷久美子【香川県】大町雅志【福岡県】原田八千代、三原健朗

◎法人会員（敬称略）

【東京都】株式会社フレアス、公益社団法人全国病院理学療法協会、公益社団法人東京都はり・
きゅう・あん摩マッサージ指圧師会、セイリン株式会社

◎ご寄付をいただいた方々（敬称略）

【富山】矢野博明【群馬県】石渡博明【東京都】坂井友実【岐阜】川喜田健司
【島根】小川幹雄【京都府】矢野忠【福岡】原田八千代【沖縄県】當眞三男



皆様の温かいご支援に、心より厚く御礼申し上げます。

入会ならびにご寄付のお願い



当財団の運営費は、主に治療院収入と講座収入のほか、会員の方々からの年会費とご寄付によって賄われています。今期も早々に多くの方々から会費とご寄付をお寄せいただきましたこと、心より感謝申し上げます。その上で、今期の会費等の入金はまだお済みでない方におかれましては、改めてのお願いで甚だ恐縮に存じますが、ご無理のない範囲でのご検討をいただきまようお願い申し上げます。行き違いのご無礼の節はなにとぞご容赦ください。

なお、すでに年会費をお振込みいただきました方々のご芳名につきましては8ページに記載させていただきますので、ご確認ください。

- 個人会員は「一般会員」（年会費 5,000 円）と「ゆめ会員」（同 20,000 円）に分かれています。「法人会員」は一口 30,000 円です。
- ご入金される方は同封の振込用紙をご使用になるか、下記の口座にお振込みいただきますようお願いいたします。

- ゆうちょ銀行からのご入金
記号・番号：00170-4-487300
名称：一般財団法人 一枝のゆめ財団
- 他の銀行からのご入金
銀行名：ゆうちょ銀行
支店名：〇一九店（ゼロイチキュウ）
口座種類：当座預金
口座番号：0487300

賛助会員の区分		会 費	期間
個 人	一般会員	5,000 円	1 年
	ゆめ会員	20,000 円	1 年
法 人		1 □ 30,000 円	1 年

編集後記



肌を感じる風も、秋を感じる頃となりました。猛暑のみならず大雨などにも見舞われたコロナ禍3度目の夏が過ぎましたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。今回のゆめ通信第12号では、財団・第6期に関する報告に加え、4月から当院で研修中の先生方の感想を掲載いたしました。困難な状況にも負けず、熱心に研修に取り組まれている先生方を近くで拝見していて、感銘を受ける毎日です。こんなにも前向きで努力を惜しまない先生方がいらっしゃると思うと、未来が明るく感じられます。事務局としても研修生の先生方が、集中して研修に取り組めるよう、引き続きサポートしていきたいと思っております。 ※研修生の感想は次号にも掲載予定です。 （事務局 吉岡 瞳）